



「ハッピーニュース」

いつもお世話になっております! 夏真っ盛りの中ですがいかがお過ごしでしょうか?

涼しい秋が待ち遠しいですね~

脳は周りの言葉を一人称で処理しがちなので(諸説あります)人が叱られている言葉を聞くと、自分が叱られている時と同じ気持ちになったり、人の悪口を言っていると自分への悪口と捉え、嫌な気持ちになります。逆に人の良いところを言ったり、ほめたりすると自分が良いところを言われたり、ほめられて

いるのと同じ気持ちになります。そんな効果を狙い「嬉しかったこと」をその場にいる人たちで共有し、全員が前向きで活発になれる「ハッピーニュース」という手法があります。

昨年秋からアクシデントが起こる春先まで、営業数人で「ハッピーニュース」を実施しました。ジャンルを問わないので家族の状況、好きなこと、休みの過ごし方など様々な「ハッピーニュース」を話していただきました。知らない話も多く、いかに私はみんなの話聞いていないかよくわかりました(汗)

しかし、会社の仲間はビジネスで繋がっている仲間なので、一番みんながハッピーになれることは「仕事でこんなことをやってうまく行った」という話でした。「それは面白いね!」「いいと思うわ!」そんな話の中から積極的な気持ちになり、次の提案をするという好循環も生まれました。今中断をしていますが、いずれ各部署でこの「ハッピーニュース」を実施し、みんながハッピーになり積極的に仕事に取り組める環境を作りたいと思います。今月も頑張りましょう!

今月のお題 this month title

私のハッピーニュース

♪ Have a Nice Day! ♪

楽しみに観ているTV、土曜日の18時から始まる「人生の楽園」。冒頭のナレーションで「今週は何かいい事ありましたか?」と問われる。「何も無かったよ~」と独り言。

健康で、何事も無い平穏な毎日が、いい日だったと思いたい。

週末にしか面倒がみれない野菜畑。田舎に帰ると、真っ先に畑の見回り。「今週はアレとコレが採れるヨ!」と収穫係の奥さまに報告。草取りはしんどいですが、大きくなれ、美味しくなれと願いを込め…これも幸せなひと時でしょうか?まるで人生の楽園みたいです。いつもありがとうございます。



●営業所長 川口洋志

何気ない日常

今年から、近場の景色の良い「牛窓神社の展望台」や「深山公園のハイキングコース」など、晴れた日に楽しんでいる。景色の良い眺めは、ストレス発散できてハッピーな気持ちになる。

そして、今年の春、地元大学に入学した息子と、コロナが落ち着いた5月連休に、東京から帰省した娘が、田舎での田植えを手伝ってくれた。

母親が認知症を発症した今、このような何気ない日常を迎えることができることこそが、一番ハッピーなことなのだと改めて思った。



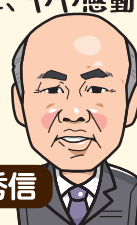
●営業主任 小川 茂

待望の新車購入

昨年11月に注文した車が半導体不足などの影響でやっと4月下旬に納車になりました。

納車待ちの間は社外パーツを見たりYouTubeの試乗インプレを見て楽しんでいました。

納車時は待ちくたびれ、やや感動は薄れましたが、これから少しずつ手を入れて行き13年間は乗り続けたいです。



●営業 川内秀信

小さなしあわせ

日々の生活の中で生き物も植物もしっかり成長している。三年振りにコシアカツバメが帰ってきた。一昨年から営巣をするがモズに巣を壊されながら今年はなんとか大丈夫そうである。毎日、壊されまいかと心配していますが。



●営業 西田利宏

友あり遠方より来たり

この数か月で、大学の先輩、後輩、中高の同級生がそれぞれ岡山に来てくれました。「四国旅行のついでに」「東京から福岡へ行く途中だったから」「大阪市内では見られないホテルなどの自然を子どもに見せたくて」と理由も様々ですが、皆が数年会わない間に家族が増えるなど環境も変わっていて、近況を話さううちに、あっという間に時間が過ぎてしまいました。次回は僕が会いに行く番です。



●営業 横内 明